

高精度な AF 性能や高画質化の機能を追加した 「OM-D E-M1 Mark II」のファームウェア Ver.3.0 を公開 「OM-D E-M1X」Ver.1.1、「Olympus Workspace」Ver.1.1 も同時公開

オリンパス株式会社(社長:竹内 康雄)は、ミラーレス一眼カメラ「OLYMPUS OM-D E-M1 Mark II」用ファームウェア Ver.3.0、ならびに「OLYMPUS OM-D E-M1X」用ファームウェア Ver.1.1、「Olympus Workspace」Ver.1.1 を 2019 年 6 月 19 日(水)から公開します。「OM-D E-M1 Mark II」のファームウェア Ver. 3.0 では、2019 年 2 月 22 日に発売した「OM-D E-M1X」で達成した高精度な AF 性能と高画質化を実現しています。今後も「OM-D E-M1 Mark II」を「OM-D E-M1X」と並ぶ OM-D シリーズのプロフェッショナルモデルとして位置づけて、持ち運びやすさと撮影時の軽快性をより重視する写真家にその価値を提供してまいります。

●「OM-D E-M1 Mark II」ファームウェア Ver.3.0 主な内容

1. 「OM-D E-M1X」で大きく進化した AF アルゴリズム(動画 AF を含む)を採用
 2. 「C-AF 中央優先」・「グループ 25 点」・「C-AF + MF」^{※1}など最新の AF 機能を追加
 3. AF 低輝度限界-6EV に対応
 4. 高感度時ノイズをファームウェア Ver.2.3 に比べて約 1/3 段改善
 5. より高い解像を実現する低感度画像処理(解像優先)機能を追加
 6. 「Olympus Workspace」の新機能 USB RAW 編集^{※2}をサポート
- その他、「フリッカーレス撮影」や「OM-Log400」など、「OM-D E-M1X」で搭載された機能を追加

●「OM-D E-M1X」ファームウェア Ver.1.1 主な内容

1. 「Olympus Workspace」の新機能 USB RAW 編集^{※2}をサポート

●画像編集ソフトウェア「Olympus Workspace」Ver.1.1 主な内容

1. フォーカスブラケットで撮影した画像を深度合成する機能を追加^{※3}
2. 比較明合成機能を追加
3. 高速 RAW 現像を可能にする、USB RAW 編集^{※2}を追加

<本件に関するお問い合わせ先>

●報道関係の方:【雑誌・業界紙/誌・Web 媒体の方(経済関連の雑誌・Web 媒体を除く)】

オリンパス株式会社 マーケティングコミュニケーション 三瀬

TEL 03-5738-3466 (ダイヤルイン) FAX 03-5738-3794

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚 1-50-1 笹塚 NA ビル

【新聞・通信社、経済関連の雑誌・Web 媒体の方】

オリンパス株式会社 コーポレートコミュニケーション 広報・宣伝 松沢

TEL 03-3340-2029 (ダイヤルイン) FAX 03-6901-9680

●一般の方: オリンパスカスタマーサポートセンター

TEL 0570-073-000 (ナビダイヤル)

●ホームページ: オリンパスイメージングサイト <https://olympus-imaging.jp/>

※1 コンティニュアス AF(C-AF)中の MF は、M.ZUIKO PRO シリーズ(M.ZUIKO DIGITAL ED 8mm F1.8 Fisheye PRO は、ファーム ver.1.2 以降、M.ZUIKO DIGITAL ED 25mm F1.2 PRO、M.ZUIKO DIGITAL ED 45mm F1.2 PRO は、ファーム ver.1.1 以降へのファームアップが必要です。)と M.ZUIKO DIGITAL ED 12-200mm F3.5-6.3 に対応します。

※2 USB 接続したカメラの画像処理エンジン TruePic VIII を使用することで RAW 現像の大幅な高速化を実現した新機能。Olympus Workspace および対応カメラのアップデートが必要です。Olympus Workspace から設定可能な編集項目は、カメラ内で対応可能な RAW 編集に限ります。対応機種は OM-D E-M1X、OM-D E-M1 Mark II、保存形式は、JPEG となります。

※3 深度合成対応レンズで撮影した画像である必要があります。



「OM-D E-M1X」
+「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-100mm F4.0 IS」



「OM-D E-M1 Mark II」
+「M.ZUIKO DIGITAL ED 12-40mm F2.8 PRO」



画像編集ソフトウェア「Olympus Workspace」

●「OM-D E-M1 Mark II」ファームウェア Ver.3.0 主な内容の詳細

1. 「OM-D E-M1X」で大きく進化した AF アルゴリズム(動画 AF を含む)を採用

プロ写真家の撮影ノウハウをもとに開発した「OM-D E-M1X」の AF アルゴリズムを採用。スポーツなど動きの激しい撮影条件にも応えられる性能を目指し、「C-AF 中央優先」モードによる被写体の動き出しや移動中の被写体への高精度な追従性を実現しました。S-AF 時の静止している被写体への AF 精度も、「OM-D E-M1 Mark II」ファームウェア Ver.2.3 時のものに比べて、様々な被写体で合焦率が上がっています。また像面位相差 AF センサーからの情報を積極的に活用することで、動画撮影時の AF 性能の向上も実現しています。

2. 「C-AF 中央優先」・「グループ 25 点」・「C-AF + MF」※1 など最新の AF 機能を追加

AF ターゲットモードに、鳥や小動物の撮影に有効な「グループ 25 点」が加わりました。「グループ 5 点」「グループ 9 点」「グループ 25 点」において、常に選択エリアの中央を優先してオートフォーカスを繰り返す「C-AF 中央優先」の設定が可能になりました。中央エリアで AF ができないときは周辺エリアでアシストし、激しく動き回る被写体等に対して有効です。さらに C-AF 中にフォーカスリングを回すことで、即座に MF に切り替えて、ピントの微調整ができる「C-AF+MF」※1 を搭載しました。

3. AF 低輝度限界-6EV に対応

AF 低輝度限界は F1.2 レンズ装着時において-6.0EV (S-AF 時、ISO100 相当)を実現し、暗いシーンや低コントラストの被写体も高精度にフォーカシングします。

4. 高感度時ノイズをファームウェア Ver.2.3 に比べて約 1/3 段改善

ISO 感度が高いときに発生する高感度ノイズは「OM-D E-M1 Mark II」ファームウェア Ver.2.3 時のものに比べて約 1/3 段分向上しています。

5. より高い解像を実現する低感度画像処理(解像優先)機能を追加

ISO 感度が低い設定での撮影時に、より高い解像感を実現する低感度画像処理(解像優先)機能を追加しました。^{※4}

6. 「Olympus Workspace」の新機能 USB RAW 編集^{※2}をサポート

パソコンとカメラを USB で接続し、「OM-D E-M1 Mark II」の画像処理エンジン「TurePic VIII」を活用することで、「Olympus Workspace」の RAW 現像の大幅な高速化を実現した新機能 USB RAW 編集^{※2}をサポートしました。

その他改善項目

- ・ 「フリッカーレス撮影」を追加
- ・ 動画ピクチャーモードに「OM-Log400」を追加
- ・ LV ブースト/On2 に「LV 表示速度優先」を追加
- ・ 「深度合成」で撮影枚数を 3 枚～15 枚まで選択可能な機能、撮影エリアのガイド線表示機能を追加
- ・ クイック画像選択機能を追加
- ・ カード書き込み中の設定変更、再生表示などが可能
- ・ アートフィルターに「ネオノスタルジー」を追加
- ・ ISO L100 (ISO 100 相当)を追加

●「OM-D E-M1X」ファームウェア Ver.1.1 主な内容の詳細

1. 「Olympus Workspace」の新機能 USB RAW 編集^{※2}をサポート

パソコンとカメラを USB で接続し、「OM-D E-M1X」の画像処理エンジン「TurePic VIII」を活用することで、「Olympus Workspace」の RAW 現像の大幅な高速化を実現した新機能 USB RAW 編集^{※2}をサポートしました。

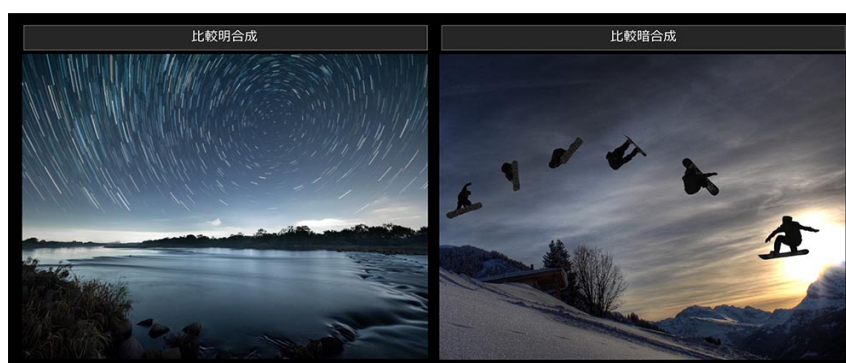
●画像編集ソフトウェア「Olympus Workspace」Ver.1.1 主な内容

1. フォーカスブラケットで撮影した画像を深度合成する機能を追加^{※3}

パソコンで深度合成を行う場合、これまではフォーカスブラケットで撮影した画像を市販のソフトウェアで合成する必要がありましたが、「Olympus Workspace」を使用して最大 999 枚合成できるようになりました。

2. 比較明合成機能を追加

「Olympus Workspace」を使用した比較明合成に対応しました。カメラのライブコンポジット撮影のような画像を作ることができます。さらに比較暗合成を追加しました。



Olympus Workspace に比較明合成・比較暗合成を追加

^{※4} 通常の連写優先モードに対して連写継続枚数に影響を与える可能性があります。

3. 高速 RAW 現像を可能にする、USB RAW 編集※2を追加

パソコンとカメラを USB で接続し、「OM-D E-M1 Mark II」、「OM-D E-M1X」の画像処理エンジン「TruePic VIII」を活用することで、「Olympus Workspace」の RAW 現像の大幅な高速化を実現した新機能 USB RAW 編集※2を追加しました。



画像処理エンジン TruePic VIII を使用して圧倒的に高速な RAW 現像が可能

●各機能対応表

	E-M1X V1.1	E-M1 mark II V3.0
AF グループターゲット 25 点	搭載済み	○
カスタム AF ターゲット	搭載済み	-
C-AF 中央優先	搭載済み	○
C-AF 中央スタート	搭載済み	○
C-AF+MF	搭載済み	○
インテリジェント被写体認識 AF	搭載済み	-
フリッカーレス撮影	搭載済み	○
OM-Log 400	搭載済み	○
ISO L100 (ISO 100 相当)	搭載済み	○
LV ブースト/On2「LV 表示速度優先」	搭載済み	○
深度合成: 3~15 枚から選択可能	搭載済み	○
深度合成: ガイド罫線表示	搭載済み	○
アートフィルター「ネオノスタルジー」	搭載済み	○
低感度画像処理(解像優先)	搭載済み	○
カード書き込み中の設定変更や再生表示	搭載済み	○
クイック画像選択	搭載済み	○
USB RAW 編集	○	○
ライブ ND 撮影	搭載済み	-
手持ちハイレゾショット	搭載済み	-
ハイスピード撮影: 120 fps (1920 × 1080 / MOV)	搭載済み	-
Bluetooth 接続	搭載済み	-
UHS-II 対応ダブルスロット	搭載済み	-
GPS/フィールドセンサーシステム	搭載済み	-
USB 給電/本体充電	搭載済み	-
マルチセクター	搭載済み	-

ファームウェアアップデートの詳細は、下記 URL からご確認ください。

「OM-D E-M1 Mark II」、「OM-D E-M1X」

<https://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/dslr/fw/index.html#omd>

「Olympus Workspace」

<https://cs.olympus-imaging.jp/jp/support/cs/soft/index.html#ow>



オリンパスは本年 10 月 12 日に創立 100 周年を迎えます。

これまで当社の発展を支えてくださったお客さまをはじめ、ステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。これからも世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現を通して、社会に貢献してまいります。

仕様については、予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

本リリースに掲載されている社名及び製品名は各社の商標または登録商標です。